

# がれき「安全」は9知事

都道府県 アンケート 市町村協力要請は半数

東日本大震災で発生した岩手、宮城両県のがれきを被災地以外で引き受ける広域処理で、安全性が確保されていると考える知事は9

都道県にとどまることが9日、共同通信社の都道府県アンケートで分かった。国は埋め立てなどの基準を提示しているが、10県は放射

性物質に懸念があると回答。15府県は判断できないとしており、多くの知事が説明に納得していない現状が浮かび上がった。市町村

に協力を呼び掛けたのは約半数の23道府県で、国の要請は十分に浸透していない。

政府は広域処理の加速を目指し、国と市町村の「調整役」として都道府県の役割を重視。3月には野田佳彦首相名の文書で協力を要請するなど、働き掛けを強めている。

安全性確保に懸念がある」と回答した知事のうち、新潟の泉田裕彦知事ら5人は「8千鈎という埋め立て基準値が高すぎる」と指摘。青森の三村申吾知事は「埋め立て後の管理基準が不明確」とした。また静岡など11都道府県は、独自に受け入れの基準を決めていると答えた。

放射性セシウム濃度が1鈎当たり8千鈎以下のがれきや灰は通常の廃棄物同様に埋め立てられるとの基準や、放射線量の測定方法を示した国のガイドラインに関し、安全性が確保されていると回答したのは、北海道の高橋はるみ知事や、既に受け入れている東京の石原慎太郎知事ら。

### がれき広域処理アンケート

問1	放射性物質について安全性が確保されているか ○ 確保されている × 懸念がある △ どちらとも判断できない ◇ その他
問2	市町村に対する広域処理の協力呼び掛け ○ 呼び掛けている △ 検討している × 予定はない — 回答せず ◇ その他
問3	国が示した広域処理のガイドラインとは別に独自の基準を策定するかどうか ◎ 策定した ○ 検討している × 予定はない △ 分からない — 回答せず ◇ その他

	問1	問2	問3
北海道	○	○	◎
青森県	×	○	○
秋田県	◇	○	○
山形県	△	△	○
茨城県	○	○	○
栃木県	○	○	○
群馬県	○	○	○
千葉県	○	○	○
東京都	○	○	○
神奈川県	×	○	○
新潟県	○	○	○
富山県	○	○	○
石川県	○	○	○
福井県	○	○	○
山梨県	○	○	○
長野県	○	○	○
岐阜県	○	○	○
静岡県	○	○	○
愛知県	○	○	○
滋賀県	○	○	○
大阪府	△	○	◎
京都府	◇	○	○
兵庫県	×	○	○
奈良県	△	○	○
和歌山県	△	○	○
鳥取県	△	○	○
島根県	△	○	○
山口県	△	○	○
徳島県	×	○	○
香川県	△	○	○
高知県	△	○	○
福岡県	△	○	○
佐賀県	△	○	○
長門県	△	○	○
熊本県	△	○	○
大分県	△	○	○
宮崎県	△	○	○
鹿児島県	△	○	○
沖縄県	○	○	○

政府が広域処理への協力を文書で要請したことには、24人が「広域処理の進展が期待できる」「国の責任が明確化する」などと評価。一方、東京の石原知事や大阪の松井一郎知事ら4人は「要請が遅すぎる」などの理由で評価できないとした。